

河口港における漁業集落環境整備

業務名	玉江漁港漁業集落環境整備基本調査設計業務委託（13-150）
委託者	山口県萩市
担当者	小島靖弘、（横井正二）

1. 調査の目的

漁業及び漁村の健全な発展を図る上では、漁業の近代化、漁場・漁港等の生産基盤の整備等とともに、漁村の生活環境の改善が緊急の課題となっている。

本調査は、山口県萩市玉江漁港区域内の背後集落（玉江浦地区及び倉江地区）の集落環境を総合的に整備することにより漁港機能の増進、漁業者等の居住者の福祉の向上と定住の促進、漁場環境等の自然環境の保全に資することを目的としており、更に都市との交流・親水性レクリエーション等を活用した漁村活性化を図ることを目的として実施した。

また、今回の調査を漁村の多面的役割と同時に、漁村の将来像を踏まえた総合的な漁村整備の一環として位置付け、長期的、総合的視点に立って、合理的かつ効果的な整備とするために調査を行なったものである。

2. 調査の方法

調査は既存資料の収集・整理・分析・現地調査、アンケート及びヒアリング等により当該地区の問題点を抽出・分析し、整備目標と事業化の検討を行った。調査フローを次項に示す。

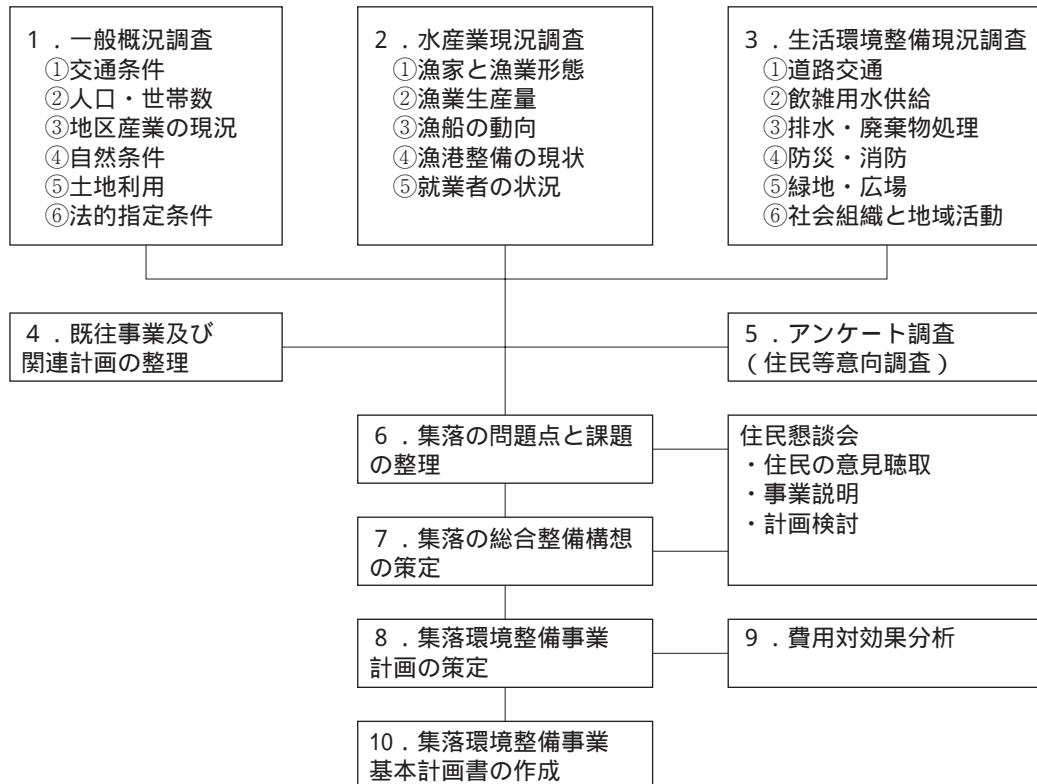


図 - 1 玉江地区漁業集落環境整備事業整備計画図

3. 調査結果

3-1 集落の概況及び環境整備の現状

(1) 集落の位置と交通

萩市は、山口県北西部にあり、北は日本海に臨み、中国山地に源を発する阿武川の下流に形成された三角州の中央に位置している。玉江漁港は、阿武川が北西に走る断層谷に沿って日本海へ注ぐ所に展開する萩デルタを挟んで東に松本川、西に橋本川となって分流する橋本川の河口部左岸に面して展開する河口港である。

(2) 集落の形態

集落は、橋本川に面して細長く展開しており、集落背後は、山陰本線を挟んで山塊であり、一部急傾斜地がある。また、住居はわずかな平坦地に密集しており、全体的に集落内部の道路は狭い。

(3) 人口・世帯の現状

玉江地区の人口、世帯数（平成12年現在）は、1,602人、560世帯であり、市の人口（46,723人、18,634世帯）の約3%である。最近16年間（昭和60年～平成12年）の人口推移は減少傾向にあり、昭和60年に比べ26%の減少、平成7年度に比べ9%減少となっている。

(4) 道路交通の現状

集落内には市道萩・菊ヶ浜線と集落の幹線道路である県道萩・三隅線が通っている。市の中心部へは、県道萩・三隅線から市道萩・菊ヶ浜線または国道191号線を経由する。

本地区は住居が密集しており、車両通行不可能の路地が多く、唯一、県道萩・三隅線は、生活道路として機能しているが、幅員が4m程度の箇所も多いため、ゴミ収集車やバキュームカーの作業中は他の車両は通行できず、交通渋滞になっている。

(5) 飲雑用水供給の現状

本地区の飲雑用水は、上水道によって供給されており、普及率は100%である。

(6) 排水、廃棄物処理の現状

雨水は、道路側溝や排水路、小河川を経て橋本川に排出されるが、一部排水路が未整備な場所があり、大雨時には山腹からの雨水で側溝が氾濫して床上浸水する場合もある。生活雑排水についても雨水と同様に側溝や排水路等を経て橋本川に排出されている。

一般ゴミの収集は、特にゴミステーションなどはなく、自宅の前にゴミを出しているが、カラスや猫などによりゴミが散乱してしまうので、これを防ぐ対策が必要である。

(7) 防災・消防の現状

住居が密集しており、消防車の通行が困難な場所が多く、また防火水槽も少ないため、消防活動に支障が生じる危険性がある。

(8) 緑地・広場の現状

集落内には児童や住民が気楽に利用でき、生活の憩いの場及び交流の場となる公園や緑地広場がない。緑地広場は防災時の緊急避難場所ともなり得るため、整備が必要である。

(9) 土地利用の現状

集落は橋本川左岸とJR山陰本線を挟んで、比較的平坦地に形成されているが、住居密集地で公共施設用地、駐車場等が不足している。また、農地、遊休地は存在するが、車両のアクセスが悪いため、利用されていない箇所もある。

3-2 住民意向調査

アンケート調査は、配布700枚に対して、回答数643人、回収率91.9%であった。

アンケートでは、漁業集落環境整備事業で対象となる項目を中心に31項目の生活環境項目について、「1. 早急に改善したい」、「2. できれば改善したい」、「3. 現状のままでよい」、「4. わからない」

という4者択一式で回答を求めた。この中で生活環境について改善したい(早急に改善、できれば改善)と回答した割合の高い項目の上位10位までを以下に示す。

順位	環境整備項目	%
1位	集落内道路の幅員	77.4
2位	トイレの形式(水洗化)	70.6
3位	集落内の共同駐車場(住民用)	65.6
4位	子供の遊び場、公園	65.0
5位	集落内の共同駐車場(外来者用)	62.1
6位	道路側溝、雨水排水路の整備	59.3
7位	家庭雑排水の処理	57.4
8位	集落内道路の舗装	57.1
9位	漁港周辺のトイレ、手洗い場	55.4
10位	漁港、地先海域の汚染防止対策	51.0

アンケート調査では、集落内道路の整備、排水施設整備、側溝・排水路の整備、子供の遊び場・公園整備の要望が特に高いことがうかがえる。

4. 集落環境整備基本構想

4-1 漁業集落の将来像

漁業集落内の污水处理施設を公共下水道で実施するとともに、集落道整備、緑地広場整備等により、生活環境を改善・向上させることで、漁業集落の過疎化、高齢化等の問題の改善も図り、安全で快適な漁業地域の形成を目指す。

4-2 環境整備の構想

生活環境の遅れが、若年層の減少、高齢化の一因となっており、高密度狭隘路の解消と居住環境の整備、緑地広場等の整備と適切な土地利用の実現を目標に環境整備を図る。

(1) 集落道整備

交通利便の向上、交通事故、防災安全等の確保や土地の有効利用を図るため、県道萩・三隅線のバイパスとして機能する集落道を整備する。

- ①市道玉江・菊ヶ浜線へ通じる集落幹線道として、物揚場を前出し、その背後を集落道として整備する。(漁協～倉江3区)
- ②県道萩・三隅線から漁港への進入道路として整備する。(玉江浦2区)
- ③県道萩・三隅線から漁港への進入道路として整備する。(倉江1区)
- ④県道萩・三隅線から緑地広場への進入道路として整備する。(玉江浦1, 2区)
- ⑤市道玉江・菊ヶ浜線から緑地広場への進入道路として整備する。(玉江浦1区)

(2) 集落排水施設(下水道)の整備

生活環境の改善、漁港等の水質の保全、し尿の汲み取りに伴う交通渋滞等を解消するため、公共下水道事業により下水道を整備する。

(3) 緑地・広場整備

地区住民が手軽に利用でき、交流・憩いの場となる緑地広場を整備する。

- ①集落の中心部でもある漁協前の港内を埋立て、地区住民の祭り等の交流施設の場や遊具広場、憩いの場等を整備する(玉江浦1, 2区)
- ②倉江地区住民の祭り等の交流施設の場や憩いの場等を整備する(倉江1区)

(4) 防災・安全対策

- ① 緑地広場施設の整備により、防災・災害時の非難場所として利用する。
- ② 集落道の整備により、非難路等を確保する。
- ③ 集落道に沿って、海岸部及び道路交差点部に街路灯も整備する。

5. 事業計画の概要

事業種目	細目	数量	整備内容	地区
漁業集落道整備	1号集落道	L = 300m W = 6.65m	既設物揚場を前出して、その背後に道路新設、街路灯整備	玉江浦・倉江
	2号集落道	L = 60m W = 5.0m	萩・三隅線から1号集落道へ進入道路新設	玉江浦
	3号集落道	L = 130m W = 6.5m	萩・三隅線から既設橋本川沿い道路へ進入道路新設、街路灯整備	倉江
緑地広場施設整備	緑地広場 1	A = 2,670m ²	東屋、トイレ、植栽、遊具、フェンス、照明灯	玉江浦
	緑地広場 2	A = 1,060m ²	植栽、フェンス、照明灯	倉江
用地整備	緑地広場 1	A = 2,670m ²	漁協前港内を埋め立て、緑地広場用地新設	玉江浦

6. 成果の活用

平成14年度より、本調査に基づき地区の将来像の実現に向けて、漁業集落環境整備事業が導入され、各施設の整備が進められる。

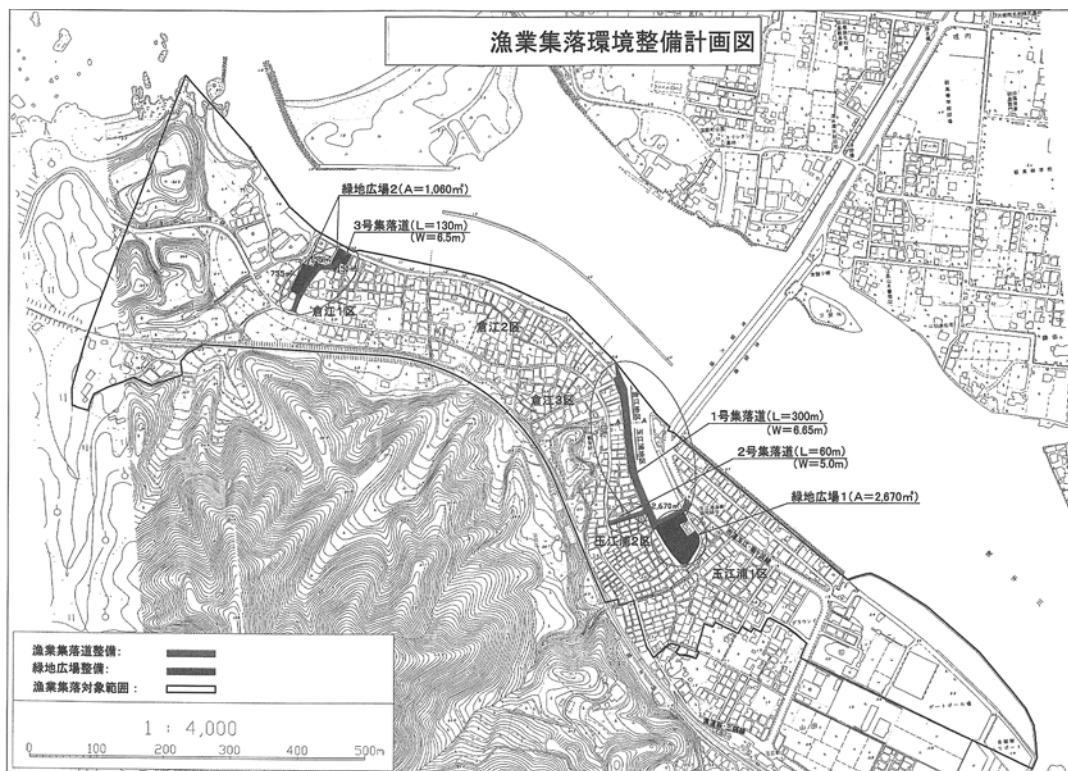


図 - 1 玉江地区漁業集落環境整備事業整備計画図